

3月20日 福岡県西方沖地震

東・中央区震度6弱を観測 市内に甚大な被害



地震で損傷した屋根をビニールシートで覆った玄界島の家庭

市、復旧に全力で取り組む

三月二十日午前十一時五十三分頃、福岡市の北西約二十キロの玄界灘を震源とする大地震が発生、九州北部を中心に大きな被害をもたらしました。地震の規模はマグニチュード7、震度は福岡市東区・中央区、前原市などで6弱、その他九州から関東地方の一部にかけて1～5強が観測されました。福岡管区気象台が観測を開始した一八九〇年以降、県内で観測された震度は4が最大でしたが、今回はそれを上回り、観測史上最大のものとなりました。

震源地に近い福岡市では、四月五日時点で死者一人、負傷者六百三十五人の人的被害が発生、住家被害は二千三十八棟に上り、中でも西区玄界島では、全二百二十五棟の家屋の約八割が全半壊するなど被害は甚大で、すべての島民が市九電記念体育館などへ避難しました。

市は、同日午前十一時二十分頃、災害対策本部を設置し、情報収集や自衛隊、海上保安庁への協力を得て玄界島住民の救出などに取りかかりました。祝日で休業だった職員は、災害時のマニュアルに則し各職場へ自主登庁。鉄道の運休など交通網が遮断される中、地震発生から四時間半後には、全職員約三割にあたる三千七百七十二人が到着し、被害への対応に奔走しました。大地震の発生から数週間が経ち、市内の交通やライフラインは正常に戻っていますが、今なお被害に苦しむ多くの被災者がいます。現在、市は、見舞金や市税の減免、市営住宅への一時入居、各種相談窓口の開設などの被災者支援策の実施や、港湾・道路・下水道などのインフラ復旧に向けて、全力で取り組んでいます。

市長からのメッセージ

三月二十日の福岡県西方沖地震で被害を受けた市民の皆さんに、心からお見舞いを申し上げます。被災者の皆さんの苦しみや決意を新たな一歩として、玄界島の皆さんのために仮設住宅建設は今月末の完成を目指して、着々と進んでおり、さ

らに被災者の皆さんの生活再建に向けた施策とができました。しかし、一方でまだに多くの被災者の皆さんが、自宅に戻ることができず、避難所でも不安な日々を送っていらっしゃいます。市民の皆さんのご協力をお願いいたします。



全島避難の玄界島



避難所で生活する玄界島の皆さん

市九電記念体育館に 界島の住民の皆さんが、今も避難生活を続けています。高齢者や子どももおり、体育館の床に敷いた畳の上で、被害を受けた自宅を心配しながらの不由な生活です。

玄界校区の自治会長で、避難所の住民代表を務める寺田至さん(左)は「負けてはいられない」と言います。元の生活に戻るまでには、住居の確保や子どもの教育のことなど、住民と行政が一緒に取り組んでいかなくてはならない課題が山積みしています。また住民の多くは漁業を



寺田 至さん

営んでおり、春は緑が時であるにもかかわらず、漁に出ることができないため生活が不安なと言います。

「島を復興するためには、住民が心を一つにしていかなければなりません。三月二十九日、県は仮設住宅の建設に着手し、住民が心を一つにして、島に帰りたい」との声を大きいもの、島内だけでは必要な土地を確保できないため、住民と市、県で話し合っている。玄界島と中央区港の「かもめ広場」にそれぞれ仮設住宅を建設することになりました。

仮設住宅は、四月三十日に完成する予定ですが、住民の生活再建に向けて、市民生活や、踏み出しました。

住民に不自由な日々続く

市九電記念体育館に 界島の住民の皆さんが、今も避難生活を続けています。高齢者や子どももおり、体育館の床に敷いた畳の上で、被害を受けた自宅を心配しながらの不由な生活です。

玄界校区の自治会長で、避難所の住民代表を務める寺田至さん(左)は「負けてはいられない」と言います。元の生活に戻るまでには、住居の確保や子どもの教育のことなど、住民と行政が一緒に取り組んでいかなくてはならない課題が山積みしています。また住民の多くは漁業を

仮設住宅の建設始まる

三月二十九日、県は仮設住宅の建設に着手し、住民が心を一つにして、島に帰りたい」との声を大きいもの、島内だけでは必要な土地を確保できないため、住民と市、県で話し合っている。玄界島と中央区港の「かもめ広場」にそれぞれ仮設住宅を建設することになりました。

仮設住宅は、四月三十日に完成する予定ですが、住民の生活再建に向けて、市民生活や、踏み出しました。

市も対応に全力

市の災害対策本部は、地震発生から二十七分後に、本庁舎の七階にある災害対策本部室に設置されました。

一方、区役所をはじめとした市の各所属では、ガス、電力、水道、電話、インターネット、道路、学校、福祉施設、市場、各所屬が把握した情報を、随時、電話やファクスで災害対策本部に報告され、本部に報告されました。

震源は未知の断層

これまでになく規模の地震でしたが、その仕組みは次のとおりです。

地球の表面には「プレート」と呼ばれる岩盤がズグッパズルのように敷き詰められています。プレートとプレートの間には「断層」と呼ばれる割れ目があります。断層は、プレートが動くときに、断層を越えようとすると、断層がずれ、地震が発生します。

九州大学地震火山観測研究センター

九州大学地震火山観測研究センターは、今回の地震の震源と断層について、調査を進めています。

市も対応に全力

市の災害対策本部は、地震発生から二十七分後に、本庁舎の七階にある災害対策本部室に設置されました。

一方、区役所をはじめとした市の各所属では、ガス、電力、水道、電話、インターネット、道路、学校、福祉施設、市場、各所屬が把握した情報を、随時、電話やファクスで災害対策本部に報告され、本部に報告されました。

震源は未知の断層

これまでになく規模の地震でしたが、その仕組みは次のとおりです。

地球の表面には「プレート」と呼ばれる岩盤がズグッパズルのように敷き詰められています。プレートとプレートの間には「断層」と呼ばれる割れ目があります。断層は、プレートが動くときに、断層を越えようとすると、断層がずれ、地震が発生します。

九州大学地震火山観測研究センター

九州大学地震火山観測研究センターは、今回の地震の震源と断層について、調査を進めています。

被災者救援のため義援金を募っています

【受け入れ場所】各郵便局
【口座番号】01740-0-24545
【加入者名】福岡市災害対策本部
※5月31日まで、通常払込み・通常振替の料金が免除されます。

経験ない規模の地震

突然の災害に一時混乱も

福岡市は、これまで大きな地震を経験したことがほとんどありませんでした。その福岡市突然襲った地震で、市内は一時混乱に陥りました。都市の機能は比較的速やかに回復したものの、西区の玄界島と西浦地区、宮浦地区、東区の志賀島では被害が非常に大々、余震が続く中、住民の皆さんは、避難所で生活を余儀なくされました。市は、災害対策本部を中心に、次々に入ってくる被害に関する情報の確認と対応に追われました。

震度6弱を記録した都 雑居ビルが倒壊する恐れ心・中央区では、プロツが出たため、市が避難動 告を出し、ビルの補強工 事が行われ、被害が拡大するのを防ぎました。天神一丁目では、地 上階建てのビルのガラ ス四枚以上が割れて歩 道に落下し、通行人がけ がをする事態が発生しま した。

また大名二丁目では、 「被災建築物応急危険度 判定」により立ち入り が危険と判定された建 物は、四月五日現在、 四月五日現在、

都市の機能は速やかに回復

地震発生直後、地下 鉄とJR、西鉄電車はい ったん運行を停止しま したが、夕方には線路の点 検を終え、全線での運行が再開されました。また道路 バスの運行には、特に支 障は発生していません。電 話は一時的に繋がりに くくなったものの、その 日のうちにほぼ回復し、 一部で短時間の停電も、 水、電気、ガスについては、 一部で短時間の停電も、 水、電気、ガスについては、 一部で短時間の停電も、

市も対応に全力

市の災害対策本部は、地震発生から二十七分後に、本庁舎の七階にある災害対策本部室に設置されました。

一方、区役所をはじめとした市の各所属では、ガス、電力、水道、電話、インターネット、道路、学校、福祉施設、市場、各所屬が把握した情報を、随時、電話やファクスで災害対策本部に報告され、本部に報告されました。

震源は未知の断層

これまでになく規模の地震でしたが、その仕組みは次のとおりです。

地球の表面には「プレート」と呼ばれる岩盤がズグッパズルのように敷き詰められています。プレートとプレートの間には「断層」と呼ばれる割れ目があります。断層は、プレートが動くときに、断層を越えようとすると、断層がずれ、地震が発生します。

九州大学地震火山観測研究センター

九州大学地震火山観測研究センターは、今回の地震の震源と断層について、調査を進めています。

被災者救援のため義援金を募っています

【受け入れ場所】各郵便局
【口座番号】01740-0-24545
【加入者名】福岡市災害対策本部
※5月31日まで、通常払込み・通常振替の料金が免除されます。



問題は発生しませんでした。地震後、営業を停止していた百貨店や天神地下街のほか、多くの商業施設は、翌日には営業を再開しました。

連休明けの翌々日から、企業の活動もおおむね通常通りに行われ、福岡市の都市としての機能は、速やかに回復しました。

「眠れない」「不安を感じる」など、心の不調に関する相談を電話で受けます(通話料無料)。

▽日曜日 毎日午前九時～午後八時(当分の間)▽専用電話 〇120・575・114

※子どもの心に関する電話相談は、子ども総合相談センター(☎833・3000)で二十四時間行っています。

◆災害ボランティアセンター 被災した家の後片付けなどを

気軽にご利用を

行うボランティアを派遣します(雇員の修理など、危険を伴う作業には対応できません)。

▽連絡先 ☎713・0777

◆市住宅相談コーナー 住宅に関する相談を受け付けます。

▽日時 月～金曜日(祝日を除く)午前九時～午後五時

場所 市役所五階、住宅政策課

内線連絡先 ☎711・4808

8(7)33・5889

